

# FUEGOS



## フエゴス

フエゴスとは火、情熱。  
女たちの炎のような愛が  
歴史を焼く。

主演 ■ ヴィットリオ・モンジオル

アンベラ・モリーナ

ヴァレンティナ・ヴァルカ

クリスチーナ・カマヤ

監督 ■ アルフレッド・アリエス

撮影 ■ ラウル・クータル

脚本 ■ ジェラルド・ブラック

音響 ■ ボール・レーヌ

製作 ■ OLIANA PRODUCTIONS

1986年 / フランス / 1時間35分

ビスタサイズ / 配給・株式会社 リネセゾン

エル・グリンゴ  
ヴィットリオ・メゾジオルノ

アデラ  
アンヘラ・モリーナ

クララ  
カトリヌ・ルーヴェル

マルガリータ  
ヴァレンティナ・ヴァルガ

ラ・ボラカ  
マリル・マリーニ

メシャ  
クリスチーヌ・カマヤ

ドン・ブラウリオ  
ガブリエル・モノ

ナチョ  
ディディエ・ゲティ



# フェエゴス

【解説】 FUEGOS フェエゴスとは家族、炎、情熱である。20世紀初頭、民主主義革命という一つの大きな炎（動乱）が世界の到る所で燎原の火のように暴れ狂った。その炎は、南米のどこにも知れぬ地方のとある家族の強固な肖像にも降りかかった。一本の鞭が象徴する、神のような家長によって支配される一つの封建的家族制度が、未来そのものような、少女の意志によって崩壊する。酒乱、バクチ狂い、姦淫、横暴、永久に続くかと思われた体制が、一少女の業で（それはもちろん契機でしかないが）消滅した事は、永久的に完璧な体制などあり得ない事の例証であり、煩雑に登場する火は、滅亡と再生の象徴である。

監督はアルフレッド・アリエス43歳。新人監督にふさわしい処女作であるが、彼は舞台演出家として20年以上のキャリアを持ち、この映画はさながら壮大なギリシャ悲劇のようである。主演のヴィットリオ・メゾジオルノは、フランチェスコ・ロージ「三人兄弟」、パトリス・シェロー「傷ついた男」、ジャン＝ジャック・ベネックス「溝の中の月」等を経て、初の主演作品である。愛人役のアンヘラ・モリーナはブニエル「欲望のあいまいな対象」、マルコ・ベロッキオ「両目に口」、リナ・ウェルト・ミュラー「女と路地と陰謀と」等に出演している、肉感的なスペイン女優である。下女役の、ヴァレンティナ・ヴァルガはジャン＝ジャック・アノー「薔薇の名前」で特色ある少女を好演している。撮影は、ヌーヴェル・ヴァーグのカメラマンとして余りにも、有名なラウル・クタール、日本に紹介された彼の新作は大島渚「マックス・モン・アムール」。脚本は「テス」「ある女の存在証明」「マリアの恋人」のジェラルド・ブラックである。

監督はアルフレッド・アリエス43歳。新人監督にふさわしい処女作であるが、彼は舞台演出家として20年以上のキャリアを持ち、この映画はさながら壮大なギリシャ悲劇のようである。主演のヴィットリオ・メゾジオルノは、フランチェスコ・ロージ「三人兄弟」、パトリス・シェロー「傷ついた男」、ジャン＝ジャック・ベネックス「溝の中の月」等を経て、初の主演作品である。愛人役のアンヘラ・モリーナはブニエル「欲望のあいまいな対象」、マルコ・ベロッキオ「両目に口」、リナ・ウェルト・ミュラー「女と路地と陰謀と」等に出演している、肉感的なスペイン女優である。下女役の、ヴァレンティナ・ヴァルガはジャン＝ジャック・アノー「薔薇の名前」で特色ある少女を好演している。撮影は、ヌーヴェル・ヴァーグのカメラマンとして余りにも、有名なラウル・クタール、日本に紹介された彼の新作は大島渚「マックス・モン・アムール」。脚本は「テス」「ある女の存在証明」「マリアの恋人」のジェラルド・ブラックである。



【ストーリー】 今世紀初頭の南アメリカ。横暴で酔っ払いのグリンゴは一家の家長として子供は鞭で制し、女は性で抑圧するなど放蕩三昧の生活を続けていた。息子が出征する朝でさえ、馴染の売春婦ラ・ボラカの部屋で寝惚けているようなグリンゴの家を支えていたのは、心優しいグリンゴの妻クララと、彼女の妹でグリンゴの愛人でもあるアデラだった。

グリンゴのいない一家の朝は早く、まだ幼い子供達が家業のパン造りに励みクララを助ける。長女メシャの心は、長年にわたる父親の専制によって烈しい憎悪で腫れあがっていた。その怒りは、たとえ父であっても殺すべきなのだと言兄弟達を驚かせるほどに強いものだった。

グリンゴはポーカー賭博の負けが込んで借金の代償に下女マルガリータを差し出すことをドン・ブラウリオに約束してしまう。ドンを連れて家に帰ると、子供達が炊事場から誤って火を出して大騒ぎしているところだった。怒りにまかせて鞭をふるい、いやがるマルガリータをドンに引き渡す父の残忍な姿に、メシャの心は決まった。

不眠症だったマルガリータが持っていた睡眠薬は「十滴以上で永遠の眠りにつける」ものだった。その話を聞きつけていたメシャはこっそり薬を盗み出し、馬に乗る父の水筒にたらしめて見送った。

グリンゴは死んだ。ただし水筒の薬によってでなく愛馬にふり落とされ頭を打ったのだ。何も知らないメシャは自分の薬の効果に卒倒するのだった。

月日がたち、アデラの恋人のナチョがグリンゴの代わりに一家の長のように振舞っている。嵐の夜、アデラはナチョをクララの寝室にむかわせる。二人の睦み合う気配に、ナチョはグリンゴの繰り返したと考えたメシャは、彼の枕元に薬を入れた飲み物運ぶのだった。

## 1月下旬より独占ロードショー!

特別鑑賞券1,200円発売中  
(当日一般 1,500円・学生 1,300円)

特別鑑賞券は都内各プレイガイド、チケット・セン、チケットぴあ、セゾン系各劇場他でお求め下さい。グループ鑑賞のお申し込みは(株)メイジャー ☎03(541)2508まで。

連日 1:00 3:00 5:00 7:00 (土)のみ夜 9:00  
銀座1丁目(旧アトル東京跡) ☎03(535)6000

銀座アトル西友

